

環境に関するアンケート調査の結果

昨年11〜12月に実施した「安曇野市の環境に関するアンケート調査」の結果がまとまりました。その概要についてお知らせします。
(図は端数処理をしています)

市では「安曇野市環境基本計画」を平成18年から2カ年かけ策定します。

この計画は、安曇野市の環境に関する方策を総合的・計画的にまとめ、市民・事業者・関係機関と行政が連携し、それぞれの立場で環境保全に取り組むために策定するものです。

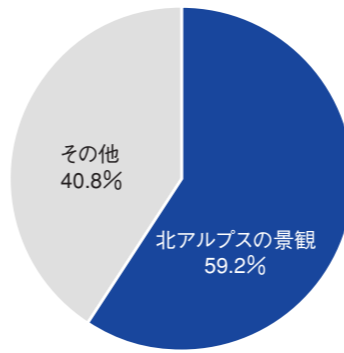
計画策定にあたって、市民の皆さんの考え方を把握するためにアンケート調査を昨年11〜12月に実施しました。

調査は、無作為抽出により、一般市民対象に行われたほか、小学校6年生・中学校3年生・事業所・市職員・市議会議員対象の調査も行いました。
 今回は、一般市民を対象に行った調査の概要について紹介します。

市の環境で自慢できるもの・大切だと思うもの

13種類の環境から、重要度の高い順に3つを選択する方法で行いました。1番重要なものとしては「北アルプスの景観」という回答が最も多く、6割近い回答でした(図1)。また、2番目に重要なものとして最も多かったのは「農地と集落の田園風景」、3番目は「道祖神や寺社などの歴史的遺物」でした。

市の環境で1番重要なもの(図1)



周辺環境への満足度

「緑の豊かさ」、「空気のきれいさ」、「風景の美しさ」では「満足」と「やや満足」を合わせた回答が約8割と高い満足度となりました。一方で「ごみ出し、ポイ捨てのマナー」では「やや不満」と「不満」が6割、「道路の整備状況」が5割と低い満足度となりました(図2)。

環境のために普段心掛けていること

「節電・節水」、「食用油や残飯を下水に流さない」、「使用済み電池やバッテリー等を定められたとおり回収に出している」については、「いつも取り組んでいる」と「だいたい取り組んでいる」を合わせた回答が8割以上でした。一方で「太陽光発電機等の利用」、「環境家計簿をつける」は「まったく取り組んでいない」が7割以上でした(図3)。

への対策」、行政に対しては「環境に配慮したまちづくり」が高い回答でした。

環境教育への関心

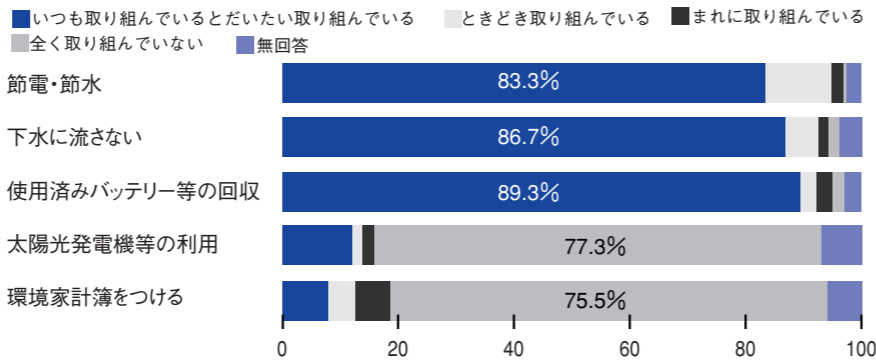
環境教育への関心が「非常にある」と「ある」を合わせた回答は7割近くとなり、関心の高さがうかがえました(図4)。

また、どのような環境教育に関心があるかを関心の高い順に2つ尋ねたところ、1番関心があるのは「ごみ処理施設やリサイクルセンターなどの見学」で、3割以上の回答がありました。2番目に関心の高いものでは、「学校における環境教育」でした。

住民参加について

「関心のあることがらについては、時間に余裕のある範囲で参加してみたいと思う」が最も多く、約4割の回答でした。また「参加したいと思うが、実際はなかなか参加できないと思う」も4割近い回答でした(図5)。

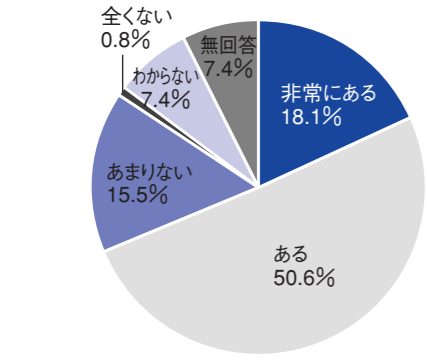
環境のために心掛けていること(図3)



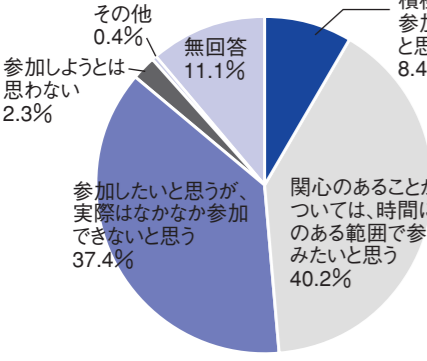
環境保全のためのごみ処理活動に取り組むべきか

環境保全のため、市民・事業者・行政がそれぞれ取り組むべき活動を、18項目の中から優先度の高い順に3つを選択する方法で尋ねました。市民に求められるものとして高かったのは「ごみの減量化の推進」で約4割の回答でした。事業者に対しては「ダイオキシンや有害化学物質

環境教育への関心(図4)



住民参加について(図5)

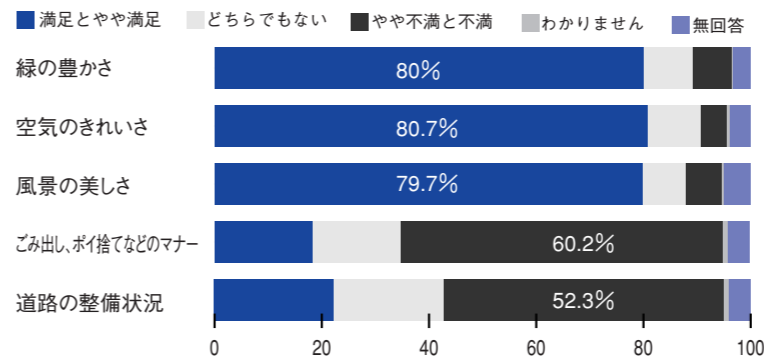


安曇野市環境基本計画 策定中

安曇野市環境基本計画は、公募・推薦の市民32人による「安曇野市環境基本計画策定委員会」が中心となり、取り組んでいます。昨年7月からこれまで12回の委員会が開かれ、環境上の課題点やその原因・要因の分析、今後の取り組みの方向性などを議論してきました。また、昨年12月には、市役所内の各部署からなる「庁内検討会議」を発足させ、調整を行っています。今後、これらの組織による検討を中心に策定作業を進めます。策定経過や計画の内容については、ホームページなどで随時お知らせします。計画へのご意見・要望をお待ちしています。■ご意見・要望などは:市民環境部環境課(Tel: 82・3131、Eメール:kankyou@city.azumino.nagano.jp)



周辺環境の満足度(図2)



調査概要

- ①調査対象 本市在住の18歳以上の市民2,000人(住民基本台帳から無作為抽出)
- ②調査方法 郵送による配布・回収
- ③調査期間 平成18年11月21日〜12月8日
- ④調査結果 配布票数2,000票 / 回収・有効票数905票(回収率45.3%)